

教育に関する事務の点検及び評価報告書

(平成 28 年度分)

平成 29 年 8 月
南部町教育委員会

【目次】

第1 点検・評価制度の概要	1
1. 事務の点検・評価の考え方	1
2. 具体的な事務の点検・評価の方法	1
3. 事務の分類と評価	1
第2 事務事業ごとの点検・評価	2
I. 教育委員会の活動	
1. 教育委員の構成	2
2. 教育委員会の活動状況	
(1) 委員会議の開催状況	2
(2) その他の活動状況	3
II 教育委員会が管理執行する事務	3～4
III 各課の事務の点検及び評価の結果	5～24
1. 学校教育環境の充実（学校教育課）	
(1) 学校教育施設・環境の整備	5～9
(2) 学校教育内容の充実	9～12
(3) 教育支援センター事業の実施	12～13
2. 生涯教育の充実（生涯学習課）	14～16
3. 文化の振興（生涯学習課）	17
4. 総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）	18～20
5. アルカディア文化館（生涯学習課）	
(1) 南部図書館・富沢図書館	21
(2) 町立美術館	21～22
6. 生涯スポーツの充実（生涯学習課）	
(1) 施設の充実と効果的な活用	23～24
(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化	24～26
(3) 組織の充実と連携	26～27

第1 点検・評価制度の概要

1. 事務の点検・評価の考え方

南部町教育委員会では、学校教育、生涯学習、文化、スポーツ・レクリエーションなどの分野で様々な施策に取り組んでおりますが、これらの施策を充実させるうえで各施策の進捗状況や町民の皆様及び関係各位の意見を踏まえることは非常に重要なことでもあります。また政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なことでもあります。

このようなことから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、自らの権限に属する事務の管理及び執行について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、町民に公表する取り組みを平成 20 年度から実施しております。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務「前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。」の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 事務の点検・評価の方法

平成 28 年度に南部町教育委員会並びに教育委員会各課において執行された事務事業について、教育委員会内部で点検評価する。

3. 事務の分類と評価

教育委員会所掌の事務事業を次のとおり 3 分類する。

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理執行する事務」
- III 「教育委員会各課の執行する事務事業」

◇ 達成度の評価

「III 教育委員会各課の執行する事務事業」について、達成度を 5 段階で評価する。

- 5 極めて満足である (順調に達成している)
- 4 満足である (概ね順調に達成している)
- 3 普通 (達成見込みだが若干課題がある)
- 2 不満足である (順調でない)
- 1 極めて不満足である (達成しなかった)
- 評価しがたいもの

第2 事務事業ごとの点検・評価

I 教育委員会の活動

1. 教育委員の構成

南部町教育委員（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

職名	氏名	任期	備考
教育長	渡辺 拓雄	平成27年4月1日 ～平成30年3月31日	教育長就任 平成27年4月1日
教育長 職務代理者	芦澤 和彦	平成25年5月1日 ～平成29年4月30日	教育長職務代理者就任 平成27年4月1日
委員	望月 恵美	平成27年5月10日 ～平成30年5月9日	
〃	入月 一巳	平成27年5月10日 ～平成31年5月9日	
〃	四條 勉	平成28年5月1日 ～平成32年4月30日	

2. 教育委員会の活動状況

(1) 委員会議の開催状況

南部町教育委員会の会議は原則として公開する。また毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催する。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む。）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けている。

平成28年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりである。

会議	開催日	議案件数	報告件数	その他
平成28年 定例会第4回	4月7日	3	1	3
〃 第5回	5月18日	4	3	10
〃 第6回	6月13日	1	4	6
〃 第7回	7月7日	1	3	5
〃 第8回	8月19日	4	3	1
〃 第9回	9月16日	2	4	6
〃 第10回	10月19日	0	5	5
〃 第11回	11月14日	4	3	4
〃 第12回	12月19日	2	5	4
平成29年 〃 第1回	1月17日	3	4	2
〃 第2回	2月14日	3	4	3
〃 第3回	3月13日	5	2	2
合計		32	39	51

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に、各会議、関係行事等へ出席している。

なお、平成27年度より地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、南部町総合教育会議が設置され、平成28年度は3回の会議が開催された。その他主な活動は次のとおりである。

- ・山梨県町村教育長会 ・山梨県教育委員会連合会
- ・峡南地区教育委員会連合会総会及び研修会 ・
- ・南部町教育委員先進地視察研修 ・学校訪問
- ・各小中学校入学式 ・卒業式
- ・各小学校運動会 ・中学校学園祭
- ・町民体育祭 ・成人式典 ・町内一周駅伝大会
- ・その他各種イベント事業への出席

II 教育委員会が管理執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は南部町教育委員会事務委任規則に規定されている。平成28年度に管理執行した事務については下記のとおりである。

(1) 教育委員会規則及びその他の重要な規定の制定及び廃案すること。

○条例の改正

- ・南部町アルカディア南部総合公園条例の一部改正

○要綱の制定

- ・南部町立学校職員の評価結果に対する苦情処理実施要綱

○要綱の改正

- ・南部町教育支援センター設置要綱の一部改正

(2) 教育予算その他の議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。

平成28年度6月補正予算、平成28年度9月補正予算、平成28年度12月補正予算、平成28年度3月補正予算、平成29年度当初予算、全て原案どおり了承される。

(3) 県費負担の教職員の人事の内申に関すること。

- ・人事異動に際し、37名の異動の内申を行なった。

(4) 教育委員会の所管する各種委員会の委員の任命及び委嘱に関すること。

- ・学校給食共同調理場運営委員会 委員17名
- ・学校評議員 委員12名
- ・学校運営協議会 委員15名
- ・社会教育委員協議会並びに公民館運営審議会 委員14名
- ・スポーツ推進審議会 委員8名

Ⅲ 各課の事務の点検及び評価の結果

1. 学校教育環境の充実（学校教育課）

（1）学校教育施設・環境の整備

① 学校施設環境整備事業

* 事業概要

- ・小中学校に学校図書の本整備を行った。

* 成果 [評価 4]

[小中学校施設の学校図書の本整備]

- ・睦合小学校 787, 824円 (図書382冊 CD2枚 DVD2枚)
- ・栄小学校 724, 591円 (図書304冊 CD20枚 DVD2枚)
- ・富河小学校 733, 128円 (図書376冊 DVD6枚)
- ・万沢小学校 697, 810円 (図書384冊 DVD4枚)
- ・南部中学校 864, 875円 (図書703冊 DVD5枚)

* 課題

学校図書の本購入については、限られた予算の中で計画的に進める必要がある。

② 地域ぐるみ学校安全整備事業（スクールガードリーダー）

* 事業概要

児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みを実施することを目的とする。

本町では、平成17年より1名のスクールガードリーダーを委嘱し、小学校4校に対して登下校の際の子どもへの指導、見守り隊への指導、通学路の安全確認等を実施している。スクールガードリーダーは、主として学校周辺を通学時間帯及び下校時間帯にそれぞれ2時間程度、4小学校を曜日変わりで巡回している。

- ・スクールガードリーダー報酬費 205, 900円

* 成果 [評価 4]

事業を開始してからは特に問題等は起きておらず、事業効果は大きい。

* 課題

今後も子どもたちの安全確保のため事業を継続していくが、4小学校の見守り地域が広範囲に及ぶため各校の見守りボランティアと連携するとともに、通学路付近の住民に「ながらパトロール」の依頼をするなど、全町的に効率的な見守りを行うことに努める。

③ 日本スポーツ振興センター災害給付金事業

* 事業概要

各小中学校に在学する児童・生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、学校の管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対して行う制度。町では全校児童生徒がこの制度に加入しており、その共済掛金は町が負担している。

- ・共済掛金合計額 463, 150円 (対象：小学校297人、中学校197人)
- ・実績 (給付金合計) 601, 099円 (対象：小学校42件、中学校72件)

*** 成果 [評価 5]**

町では中学3年生まで医療費助成制度があるが、この災害給付金制度では療養に伴って要する費用として加算される分(1/10)があり保護者にとっては有利である。学校でもその点を説明し、この制度の利用に努めている。

*** 課題**

学校では子どもの安全確保に努めているが、この制度は長期休暇中にも対応できるため、不慮の災害に備え保護者に対して安心を与えられる点が有効である。

④ スクールバス運行事業

*** 事業概要**

南部中学校において、富河・万沢地区の生徒を対象にスクールバスを運行する。また、学校と居住地が遠く離れている井出・十島地区の児童生徒及び通学路(国道)が危険な楮根地区児童も、スクールバスで送迎している。

・総事業費	20,516,000円
(内 訳)	
・運行委託料	17,393,000円
・修繕料	1,567,000円
・燃料費	1,556,000円

*** 成果 [評価 4]**

児童生徒の通学にかかる負担を軽減する。

- 1) 富河地区の生徒の輸送(65名)
- 2) 万沢地区の生徒の輸送(20名)
- 3) 井出・十島地区の児童生徒の輸送(29名)
- 4) 楮根地区の児童の輸送(9名)

*** 課題**

スクールバス乗車時間の最長は徳間地区生徒で約25分間である。遠距離生徒が安全かつスムーズに登下校できるよう運行時間、運行ルート、乗降場所等の調整を図る。また、スクールバス利用による児童生徒の心身疲労の軽減、運動不足の解消に努める。

⑤ 遠距離通学費補助事業

*** 事業概要**

学校と居住地が遠く離れている寄畑・井出・十島地区から、JRを利用して通学する児童・生徒の回数券・定期券購入の補助を行っている事業。対象校は栄小学校と南部中学校。原則、栄小児童はスクールバス通学で、南部中生徒はJR通学(朝練実施日の登校便はスクールバスを利用)である。

補助金は、原則として児童・生徒の保護者に対し交付する。

決算額(学校毎)

栄小	→	6,800円(電車:JR回数券)
南部中	→	314,930円(電車:JR定期券)

学校毎の対象者数

栄小	(井出5名、十島12名)
南部中	(井出4名、十島5名)

*** 成果 [評価 5]**

保護者の経済的負担もなく、安全に登下校できている。

*** 課題**

平成29年度より、南部中生徒は学校や保護者の要望から部活動等の時間や通学途中の安全面を考慮し、JR通学（定期券）からスクールバス通学へ変更する。

⑥ 学校給食共同調理場運営事業

*** 事業概要**

平成25年4月から2つの調理場を統合し、南部町学校給食共同調理場をスタートさせ、調理の集中化により一層の効率化が図られた。安心して安全な栄養面も十分に配慮された美味しい給食を提供することにより、子どもに望ましい食習慣を身につけさせることを目的に、共同調理場を設置している。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めるほか、給食費負担金の収納確保にも取り組んでいる。

・小学校：351食、中学校：215食

1) 学校給食費負担金

歳入決算額 28,153,255円

小学校 月額4,300円（年額 47,300円）

中学校 月額4,800円（年額 52,800円）

上記の給食費に対して、町から1割相当額を上乗せ補助している。

2) 学校給食運営費（決算額）

歳出決算額

59,523,148円（内、賄材料費31,230,438円）

3) 学校給食提供日数

小学校196日、 中学校186日

*** 成果 [評価 4]**

食材料については地産地消を取り入れ、町内JAの協力のもと地元生産者との生産者部会を定期的に開催し、季節感や風習に因んだ郷土料理や旬の野菜等を献立に加え、献立内容の充実を図っている。

*** 課題**

毎日、約570食を調理、配送することになるので適切な人員を配置するとともに、調理場では仕込み、調理、配送に至るまでスムーズな作業ができるよう効率的な体制づくりを図る。また、より豊かな学校給食の実現と一層の効果的な給食運営を図るためのひとつの手法として、給食調理業務の民間委託についても検討する必要がある。

⑦ 学校給食費助成補助事業

*** 事業概要**

少子化対策ならびに子育て支援育成に資することを目的として、義務教育対象の子どもが3人以上いる町内在住の保護者に対し、第3子以降の給食費を助成する。ただし、未納及び滞納のない世帯が対象である。

対象世帯数：27世帯 助成金額合計 1,245,080円

*** 成果 [評価 5]**

対象者に通知し申請を促しているため100%の方がこの制度を利用しており、好評を得ている。学校給食費に関心を持つきっかけとなり、収納向上に貢献している。

*** 課題**

子育て支援には成果があると思われるが、少子化は進行しており、他施策との連携による効果の拡大等を図る必要がある。

⑧ 要保護及び準要保護児童生徒への就学援助事業

*** 事業概要**

経済的理由等により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な費用(学用品費、修学旅行費、給食費等)を、認定基準額(所得の金額)に応じて認定審査を行った上、支給する。

区 分	受給者	援助額
睦合小(準要保護)	8人	531,262円
栄小(〃)	6人	357,774円
富河小(〃)	7人	441,362円
万沢小(〃)	3人	181,170円
南部中(〃)	14人	1,245,202円
計	38人	2,756,770円

◇準要保護者:児童扶養手当受給者

(27世帯38人)

◇要保護者:生活保護で対応
(0世帯0人)

*** 成果 [評価 4]**

対象者に対しては、民生主任児童委員等と連携し申請漏れのないように手続きの勧奨を行っている。ひとり親家庭に対する経済的支援の効果は大きい。

*** 課題**

前年比8名増、援助額は522千円の増となり、今後さらに援助を必要とする児童生徒(母子、父子家庭)が増加すると予想され、予算措置(町単独費用)が課題となる。

⑨ 心の教室相談事業

*** 事業概要**

心の教室相談員を町内の中学校に配置し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、悩みや不安、ストレスを解消する。

*** 成果 [評価 4]**

より身近なところに相談できる場があり、生徒達の悩み、不安、ストレスが和らぎ、心にゆとりを持てるようになることは、生徒が充実した学校生活を送ることに繋がっている。また、相談員は学校や関係機関との連携役を担っている。

*** 課題**

相談員は、生徒が抱える諸問題について、担任、養護教諭、関係機関、教育委員会との連携が求められるが、早期対応のためには、さらなる機能強化を図る必要がある。

⑩ 私立幼稚園就園奨励費補助事業

* 事業概要

私立幼稚園の設置者が幼稚園教育の振興に資するため保育料等の減免をする場合に、町が町内に住所を有し当該幼稚園に在園する幼児の保護者に対し家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るための奨励費を設置者に交付する。

- ・減免対象児童数 24名
- ・決算額 148,000円

* 成果 [評価 4]

私立幼稚園に通園する保護者への負担軽減に貢献することができた。

* 課題

この事業は南部町独自の基準で行っているが、国庫補助制度改正を参考に補助率の見直しを行っている。今後も国庫補助制度に倣いつつ、随時見直していく必要がある。

⑪ コミュニティスクール導入等促進事業

* 事業概要

保護者や地域住民の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を目指し、推進委員会を作り学校運営協議会制度の在り方等について検討する。

- ・県補助金 213,000円

* 成果 [評価 5]

年4回の推進委員会開催、先進校視察、実践研究収録の作成等を行い、平成28年5月に南部中学校がコミュニティスクールに指定された。

* 課題

南部中学校学校運営協議会の学校運営を検証し、町内の4小学校への導入も検討していく必要がある。

(2) 学校教育内容の充実

① 町費単独負担教員及び非常勤講師設置事業

* 事業概要

小学校における複式学級解消並びに、中学校におけるきめ細かな教育や教員の免許外教科の解消のため、町費単独負担教員及び非常勤講師を配置し適正な教育指導を行った。

* 成果 [評価 5]

学級編制において県基準による教員配置数を町費単独負担教員で補い、適正な教育指導と円滑な学校運営を図ることができた。

- 町単教員数：小学校2名、中学校2名
- 非常勤講師：中学校3名
- 事業費 : 16,453,981円

* 課題

中学校教員は担当教科も関係するため、人材確保が課題となる。また、小学校にお

いて複式学級が解消された際は、少人数学級のデメリットを解消する学級運営を行う必要がある。

② 小中学校特別支援教育支援員配置事業

* 事業概要

小・中学校において、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して支援員（非常勤職員）を配置し、学校生活の支援を行う。

〔特別支援教育支援員〕

障害等により特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活を送るために必要な支援を行う。

〔日本語指導支援員〕

日本語が不自由な国籍の児童生徒に対し、日本語や生活習慣の指導等を行い、学校生活を送るために必要な支援を行う。

対象生徒 1校 2名

* 成果〔評価 4〕

〔特別支援教育支援員〕

- ・学級担任と支援員との連携により、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、障害や実情等に応じた適切な支援を行うことができた。
- ・学級担任の負担を軽減することができ、学級担任による他の児童生徒への指導の充実、円滑な学級運営を図ることができた。

〔日本語指導支援員〕

- ・外国籍児童生徒が編入した学校における本人や周囲の様々な不安を取り除き、早い時期に日本の習慣に慣れさせることで、安定した学校生活を送ることができるようになった。
- ・児童生徒間の交流を促進する担い手となり、異文化に対する興味・関心を高めたり、理解を促進したりすることができた。

* 課題

専門的な支援員の人材確保が課題である。また、今後さらに支援を必要とする児童生徒が増加すると予想され予算措置が必要となる。

③ 中学校外国語指導助手設置事業

* 事業概要

語学指導を行なう外国語指導助手(ALT)として民間派遣(株インタラック)1名が南部中学校で指導している。

* 成果〔評価 4〕

生きた英語に数多く触れることで、英語学習への意欲・関心が向上し、英語を聞く・話すといった基礎的なコミュニケーション能力を高めることにつながる。

また、異文化についての意識が高まることにより、国際理解教育が推進される。

* 課題

助手の派遣は委託契約のため、委託外の校外活動等の参加、急な授業時間の変更に対応が難しい。

④ 小学校外国語指導助手設置事業

* 事業概要

小学校学習指導要領において、小学校5年生及び6年生は週1コマ「外国語活動」を実施することになっている。外国語指導助手（ALT）民間派遣（㈱インタラック）1名が、町内4小学校において、英語の授業を行っている。

* 成果 [評価 4]

外国語活動において、小学1年から6年までが外国語指導助手（ALT）とふれあうことができ、児童の英語に対する関心が高まり、意欲をもって学習に取り組めるようになった。

* 課題

十分なALTの配置が困難な自治体が多い中、4校全学年ALTによる週1コマの活動時間が確保できているが、小学校での英語教育拡充の動きがある中、増員も視野に入れておく必要がある。

⑤ 学校評議員制度の実施

* 事業概要

地域に開かれた学校づくりをより一層推進するため、各学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民の意見を幅広く聞き、学校と地域が連携しながら特色ある教育活動を展開する学校運営を推進する。

* 成果 [評価 4]

各学校ではこうした機会に学校での教育活動について協議し、家庭・地域の提言や意見を取り入れるとともに、学校だよりなどにより学校の様子を知らせ、開かれた学校づくりに努める。

* 課題

学校評議員制度による地域に開かれた学校づくりが、各学校でさらに定着することが課題である。

⑥ 山梨青森南部町児童交流会実施事業

* 事業概要

南部氏の縁に結ばれた、両県南部町児童が、互いの町の歴史や文化、身近な環境などふるさとの特色や学校等を紹介しあい、新しい時代の主役となる子どもたちの交流を深めるため毎年夏休み期間を活用し実施している。

* 成果 [評価 4]

28年度は青森県南部町へ児童30名、引率者9名で訪問する。両町合わせて12校60名が2泊3日の日程で児童交流会を実施した。1日目の歓迎式典、仲間づくりでは表情に硬さも見られたが、2日目の種差海岸のいかだづくり体験活動を通じて、両県南部町の児童は自然と会話もはずむようになり、お互いの地域の歴史や文化を共有し、さらに心を通じ合うことにより、たくさんの仲間を作ることができた。

日 時 平成28年7月27日～29日（2泊3日）

交流会：仲間づくりゲーム、種差少年自然の家（いかだ作り）体験活動

参加者数 青森南部町：8小学校30名・引率13名

山梨南部町：4小学校30名・引率 9名
参加費用 1人 5,000円
事業費計 1,619,758円

*** 課題**

28年度は青森へ訪問した。29年度に青森南部町を迎える際は、児童一人一人が目的意識を持って参加する組み立てが求められる。

(3) 教育支援センター事業の実施

① 適応指導教室事業

*** 事業概要**

登校に不安を抱える児童生徒に対し、教員OB等のスタッフが学習の支援などを行い、自立に向けて活動する「チャレンジ教室」を平成26年から南部町総合会館1階に開所した。チャレンジ教室の開所時間は、月曜日から金曜日までの午前8時30分～午後12時30分までである。

*** 成果 [評価 4]**

参加者は2人、開校日数215日。町外の他教室に通級していた生徒がチャレンジ教室に通級することになり、通級に係る負担が大幅に軽減された。スタッフは教員OBが務め、個々に応じた学習支援が可能になった。児童生徒がスムーズに学校に復帰できるよう学校と密接な連携が図られている。

*** 課題**

不登校児童生徒の早期対応に努めるとともに、不登校の背景は集団への不適応、学力不振、友達や教師との人間関係等いろいろな原因に起因するので、学校、スクールソーシャルワーカー、家庭、教委等関係者が情報を共有し、個々の状況に合った最善の対応を検討する必要がある。また、チャレンジ教室から学校への復帰に努める。

② 教職員の指導力向上研修事業

*** 事業概要**

2020年から実施が予定されている小学校高学年英語の教科化、中学校への外国語活動導入に向け夏季休業中に町内小中学校教員を対象に研修会を実施し外国語活動の充実をはかる。

*** 成果 [評価 4]**

体験型の研修であり、詳しい説明がなされ有意義だと感じた先生がほとんどだった。教師としての研修の必要性や身近に迫っていることの危機感など2020年指導要領完全実施に向けての心構えを醸成する機会となった。

*** 課題**

多くの先生方(28名)に参加していただいたが、ALTとの連携など、研修で学んだことを実際の授業でどう生かしていくかが課題となる。

③ 学力向上対策事業

*** 事業概要**

学習意欲の高揚と学力向上を図るため、小学4年生～中学3年生を対象に自学自習の場「なんぶ未来塾」を開所した。講師は教員OBが務め、毎月2回、土曜日に開催

した。

*** 成果 [評価 4]**

参加者は小学生42人、中学生28名、開校日数は小学生44日(延べ675人)、中学生44回(延べ278人)。

*** 課題**

対象学年を拡大し、開所日数を増やすことが必要である。また、開催時間は部活動時間等にも配慮し、参加しやすい時間帯を設定する。学校と連携を図り、参加の勧奨を行う。

④ 特色ある南部町教育事業

*** 事業概要**

特色ある南部町教育として、かつて蒙軒学舎で行われた英語教育に本町の特色を見出し、生きた英語教育を目的に外国人講師とともに過ごす「イングリッシュキャンプ」を開催した。

*** 成果 [評価 4]**

平成28年8月3日～4日に静岡県立朝霧野外活動センターで開催し、小学5年～6年生までの23人が参加した。講師はALT3人、日本人講師3人が務めた。ゲームやカレー作りを通じて、英語に親しむことができた。

*** 課題**

英語の楽しさを感じるだけでなく、確かな表現をねらいとして一人ひとりが表現できる場面設定が必要である。

⑤ 平成28年度「N授業」

*** 事業概要**

多くの児童がともに学習し、多様な考えに触れるなど学びを共有し、広める機会として3年生から6年生を対象に年4回N授業(町内小学校4校の合同授業)を実施している。

*** 成果 [評価 4]**

4校の児童(のべ208人)が一つの授業に参加し、多様な考えに触れることができ、学びを深め、広めることができた。互いに意見を述べたり、聞きあったりすることで交流も深まり学習意欲もわき楽しみながら学ぶことができた。

*** 課題**

N授業の基本的考え方、実施については意味あることと認識しているが、教材研究、資料づくりなど教師の負担感は否めない。また、事前研究会など4校の日程調整が難しい。

2. 生涯学習の充実（生涯学習課）

① 生涯学習の推進

* 事業概要

各種講座・教室・事業を通じて、町民が学習する機会を提供する。
成人式、生涯学習フェスティバル、南部学等が開催された。

* 成果 [評価 4]

【成人式】

平成29年1月7日に文化ホールにおいて、成人者（男性44名、女性32名）を祝福する式典を開催した。

【生涯学習フェスティバル】

平成29年2月26日に文化ホールにおいて、フェスティバルを開催した。この中で、「家庭の日」「青少年を育む日」の作品優秀者の表彰、小中学生の作文・弁論発表、研究公民館の実践発表を行った。また、文化協会と共催の記念講演では、おもちゃコレクターの北原照久氏が『～北原流ツキの10ヵ条～夢の実現』と題して講演した。

【南部学】

平成28年8月1日～3日の2泊3日で、青森・岩手県への学習会を開催した。内容は南部氏繁栄の地である奥州（青森県・岩手県）の歴史・文化に触れ、この研修を通して南部氏への知見を広め知識の高揚を図り、町の歴史的分野における生涯学習発展につながる事を目的とし、八戸根城の広場、八戸三社大祭、鮫角灯台、三戸温故館、石割桜、もりおか歴史文化館などで学習を行った。

* 課題

「南部学」は南部氏繁栄の地で研修できたことは大変意味深い学習機会の提供につながったと考えている。「生涯学習フェスティバル」についても、単なる著名人による講演ではない、教育的テーマによる講演を行うことができた。

しかし、「成人式」も含めたこれらの各イベントの運営においては転換期に差し掛かっており、従来の方法から効率化を図る必要がある。

② 青少年教育の推進

* 事業概要

青少年の人間形成において家庭の果たす役割は大きく、特に核家族化が進みつつある現在、個としての家庭では、その役割の発揮に限界があり、地域の皆で支えあって青少年の教育や社会問題の解決に取り組まなければならない。町としても、少年期から青年期に向け、社会参加活動への機会を提供するための青少年教育を推進する。

* 成果 [評価 3]

子どもクラブ連合育成会では、アルカディアスポーツフェスタにおいてスポーツ鬼ごっこ大会を開催し体力の向上を図った。1月19日～22日には新春書道展を開催した。

高校生保護者会では、子どもの夏休み中に町内4地区において「愛のパトロール」を実施。警察署と合同でパトロールを行うなど、青少年の健全育成に努めている。

町民会議では、町をはじめ関係機関や団体と緊密に連携して、夏季生活指導会議や冬季生活指導会議を開催し、育成活動に取り組んでいる。

*** 課題**

警察署との合同パトロール等、地域と連携した青少年育成活動の取り組みを行うことができた。今後も家庭・学校・地域がそれぞれの在り方や役割を認識し、緊密に連携しながら取り組む必要がある。

③ 高齢者教育の推進

*** 事業概要**

高齢化社会においては、高齢者が経済社会の変化に対応していくために絶えず新たな知識や技術を習得する機会が必要とされる。また、学習を通じての豊かさや生きがいの充足が求められることから、積極的な社会参加を果たすことができるような学習と活動の機会と場を提供し、高齢者教育の振興を図る。

【なんぶいきいき大学】

学習会	月日	内容	場所
第1回	5月19日(木)	『開講式と町長講話』 南部町長 佐野和広氏・滝井貴史氏 《まいにち15分いきいき健康づくり》	活性化センター
第2回	6月16日(木)	『きっと毎日が楽しくなる！心地いい家族のカタチ』 家事ジャーナリスト 山田 亮氏	ぴゅあ峡南
第3回	7月14日(木)	『“苔”学入門』 日本蘚苔類学会会員 佐野 良輔氏	活性化センター
第4回	8月18日(木)	『おとなの科学教室』 科学教師 中村 雅彦氏	文化ホール
第5回	9月15日(木)	『心身そうかい生活』 山梨ウェルネスセンター 所長 野呂瀬 秀氏	ぴゅあ峡南
第6回	10月13日(木)	『町外研修』 あわしまマリンパークほか	静岡県
第7回	11月15日(木)	『交通安全教室』 南部署・専門交通指導員峡南ブロック	文化ホール
第8回	12月17日(木)	『アルカディア探訪』 アルカディア文化館司書 若林 由美子氏	アルカディア 文化館
第9回	1月26日(木)	『幸せを呼ぶ!太神楽』 かがみもち夫婦太神楽 丸一仙三・仙花氏	ぴゅあ峡南
第10回	2月16日(木)	『閉講式と春待ちコンサート』 リードアンサンブル ミュール	文化ホール

*** 成果 [評価 3]**

なんぶいきいき大学では健康づくりや生活に密着したテーマなどにより、歌を歌ったり身体を動かしたり楽しく参加できる講義を開講した。また、個人の趣味を広げるためのクラブ活動などを通して、仲間づくりの輪を広げている。

*** 課題**

近年いきいき大学参加者数の減少がみられる。内容の検討など足を運んでもらう工夫を行い、参加者数の増加を目標にしていかなければならない。

3. 文化の振興（生涯学習課）

① 文化財保護事業

* 事業概要

文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを理解するうえで、欠くことのできない資産である。現在、国指定1件、県指定18件、町指定49件の指定文化財及び

国登録1件の登録文化財が存在する。文化財審議会委員を中心に書跡や史跡また天然記念物の保護、並びに無形文化財の継承に努める。

* 成果 [評価 4]

自然災害による文化財の被害は幸いなかったが、国指定の文化財である最恩寺にて賽銭盗による扉の破損被害が発生した。このため、注意喚起等広報を行い防犯意識の向上を図った。また、平成27年度取り組みを行った横山酒造店が登録文化財として登録された。

* 課題

担当職員が専従でないため、詳細な問合せ及び試掘調査等の専門的業務については難しい部分がある。一定レベルの専門的知識を有する職員の育成と、県の専門機関並びに所有者・管理者・周辺住民等との協力体制の強化、また文化財所有者への制度についての説明等を進め、文化財保護と活用に努めていく必要がある。

② 文化協会等育成事業

* 事業概要

現在の南部町文化協会は、南部地区と富沢地区それぞれの文化協会からなり、別々に事業を行なっている。合併して以来の懸案、両地区の協会が早期に一本化できるように、交流の機会を提供することを目標にして活動を計画していく。

両地区を通じて実施される町民文化祭は、相互の情報交換、交流の場の確保という面で大変重要な事業となっている。文化協会補助金として、町から220万円が支出される。

* 成果 [評価 3]

「創りだそう 暮らしの中に 輝きを」をキャッチフレーズに、南部地区、富沢地区ともに、交流を深めながら活動を進めてきた。平成27年度から実施している町民文化祭の展示発表会合同開催もスムーズに進行でき、地域間連携に対し一定の理解が示されたと感じている。

* 課題

2地区の文化協会の一本化を目指しながら活動をしているが、組織の構成、運営方法の違いがあり、一本化への摺合せは難しいものの両地区の歩み寄りを感じられる。

4.総合会館・公民館・文化ホール事業（生涯学習課）

① 各種教室、講座等の主催事業

* 事業概要

中央公民館では、町民を対象とした公民館講座や各種教室を開催している。

【連続講座】

教室名		時期・実施回数	申込数	受講者延数
陶芸教室	午後	月1回(10回)	11人	99人
	夜間	月1回(10回)	7人	65人
パン作り教室	初級	月1回(6回)	17人	94人
	中級	月1回(6回)	20人	110人
つるし雛教室		月2回(7回)	7人	46人
パッチワーク教室		月2回(6回)	7人	36人
手づくりアロマ教室		月1回(10回)	7人	63人
金属工芸教室		月3回(6回)	3人	16人
なんぶお茶教室		隔月1回(5回)	6人	27人
竹工芸教室		月2回(10回)	3人	26人
古文書講座		月1回(6回)	32人	184人
キャンドルづくり教室		全3回×2(6回)	10人	30人

【単発講座】

教室名	実施日	受講者数
夏休み料理教室	8月6日	15人
親子料理教室	10月29日	20人
	12月10日	22人
歴史探訪講座	9月30日	32人

* 成果 [評価 4]

生涯学習のひとつである生きがいつくりの入口としての役割が確立してきている。本年度も新規講座としてキャンドルづくり教室、古文書講座を実施し、好評だった。

受講者自身、この講座がきっかけで趣味として続けていると共に講座以外の事にも興味の範囲が広がりより活動的になる傾向が見られる。

* 課題

受講者が以前から受講しているリピーターが多く、新規受講者の開拓が課題である。新講座において受講者には好評だった実績を踏まえ、新講座の開催にあたっては講座内容をわかりやすく町民に広報することに努めるとともに、日時等など参加しやすい方法を検討する。また、新講座については、興味のある初心者を対象とした講座を開発し、生涯学習の裾野を広げることを目標に事業を進めていく必要がある。

② 南部町文化ホール事業

* 事業概要

芸術文化に関する住民の意識の啓発、教養の向上を目的とし、映画会、演芸会、合唱発表会、コンサートなどの自主事業を実施した。

また、地域社会の振興に寄与するため、南部町民文化祭芸能発表会、内船歌舞伎の定期公演等へ協力し、その他ホールの貸館等を行っている。

【自主事業】

事業名	開催日	入場数	販売収入額
なんぶシネマ 「妖怪ウォッチ」、「杉原千畝」	7月23日	218人	69,600円
なんぶシネマ 「ドラえもん」、「人生の約束」	8月20日	179人	51,600円
なんぶシネマ 「名探偵コナン」、「エヴェレスト」	9月3日	232人	66,800円
なんぶ演芸 出演：三遊亭円楽・三遊亭白鳥 柳貴家雪之介	9月20日	384人	762,000円
第11回南部合唱のつどい ゲスト：富士宮市プレミアムコンサート合唱団	11月20日	290人	無料
望月友美なんぶコンサート	12月18日	310人	466,000円
計	全6回	1,613人	1,416,000円

平成27年度(前年度)自主事業販売収入額 1,163,700円

【有料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
佐野友里ピアノ教室発表会	5月14日	60人	22,530円
大塚晴也津軽三味線コンサート	8月27日	300人	14,340円
佐野貴子ピアノ教室発表会	3月12日	60人	22,530円
計	全3回	420人	59,400円

【無料貸館事業】

事業名	開催日	入場数	使用料
町民文化祭芸能発表部門	11月6日	500人	無料
内船歌舞伎定期公演	12月4日	400人	無料
南部町歌謡フェスタ2017	3月5日	400人	無料
町民会議映画会「ペット」	3月25日	110人	無料
小学校芸術鑑賞会 他52回使用	5月6日他	4,069人	無料
計	全57回	5,479人	—

* 成果 [評価 3]

無料公演を含む6回の自主事業を実施。また例年好評の映画会を2作品/日×3回開催とした上で土曜日の開催とした。演芸会は三遊亭円楽氏というビッグネームを招き、文化ホール史上2度目の満席を達成した。

* 課題

集客が伸び悩んだ映画会については、日程の検討及び、万人受けする映画の選定等が課題となる。自主事業全体としては集客率と費用対効果を考慮し、ホールの規模に合致した企画の選考と、地域と連携した住民参加型の企画づくりを更に進めていく必要がある。また前年度実績から若干増となったが、地域の文化振興に貢献するための貸館による施設稼働率を、今後さらに高めていくべきである。

5. アルカディア文化館（生涯学習課）

① 南部図書館・富沢図書館

* 事業概要

地域の情報拠点、学習の拠点となる図書館は、町民の学習要求の多様化、高度化に伴い、一般書はもとより専門書、学術書、地域資料、さらには公共図書館と学校図書館を結ぶネットワークの活用を図り、学習にあった多種多様な資料の収集及び提供を目的とする。

[南部図書館]

- 開館日数：290日
- 来館者数：19,216人
- 貸し出し冊数：55,315冊
- 主催教室事業
 - ・乳幼児・幼児・リトミック教室等
開催回数：43回
参加者数：1,534人
 - ・お話し会・読書指導（小学生対象）
開催回数：11回
 - ・図書館フェスティバル
開催日 10月 参加者数 165人
 - ・講座・教室・映画会
開催回数 19回 参加者数 346人

[富沢図書館]

* 事業概要

- 開館日数：290日
- 来館者数：5,340人
- 貸し出し冊数：18,510冊

* 成果 [評価 4]

乳幼児を持つ親子並びに小学生を対象にしたお話し会や工作、手遊び、映画会等を図書館ボランティアの協力を得ながら開催しているため、読書活動に対する効果は上がっている。図書館の一大イベントである図書館フェスティバルでは、親子で楽しんでもらい盛会であった。

* 課題

利用者のニーズにあった本を提供するため、リクエスト等の情報の収集に努めるとともに、住民の読書支持率向上のための方策を検討していく。各種事業を開催することにより来館者数、貸出し冊数の増加を期待しているが、事業のみの参加となるケースが多い。

② 町立美術館

* 事業概要

町民が歴史と文化に興味を持ち、芸術向上の場として親しみやすい美術館運営を考慮し、郷土が誇る芸術家「近藤浩一路」の功績を称え、その作品を美術館に展示する。水墨画美術館として幅広く認知されるよう、又町内芸術家の情報発信、交流の場と

なるような事業を展開する。

○開館日数：293日

○企画展

- ・南部工芸作家合同展 3月19日～ 4月10日 407人
- ・早蕨展 4月29日～ 5月22日 332人
- ・国際墨彩画展 6月 9日～ 6月27日 524人
- ・富士山写真展 7月 1日～ 7月18日 169人
- ・守家勤油絵展 8月 1日～ 8月31日 278人
- ・能面の美展 10月15日～10月23日 523人
- ・映水展 11月 1日～11月30日 449人
- ・望月勅雄素描展 2月1日～ 2月28日 556人

○常設展

区 分	期 間	入場者数
近藤浩一路作品展	年2回展示換え(通年)	943人

*** 成 果 [評 価 4]**

早蕨展・国際墨彩画展・能面の美展などには多数の来館者が訪れ、町内外へ美術館をPRすることができた。企画展の回数を増やし充実した内容となり、多くの町民、また町外来館者に感銘を与え、また多くの賛辞をいただいた。

*** 課 題**

企画展の開催についても経費（印刷製本費、運搬委託料等）がかかってしまうため、今後は慎重に開催を検討する。また、情報発信は積極的に行い鋭意努力することが必要である。

6. 生涯スポーツの充実（生涯学習課生涯スポーツ係）

(1) 施設の充実と効果的な活用

① アルカディアスポーツセンター

○営業日数：305日

○入館者数：45,891人	人数	収入金額
内訳 プール・ジム	22,218人	(5,083,660円)
レッスン	15,425人	(8,222,500円)
体育館	8,248人	(475,590円)
		<u>13,781,750円</u>

○その他の施設：44,452人

内訳 テニスコート	5,707人	(318,240円)
野球場	4,652人	(563,870円)
運動場	5,622人	(79,340円)
富沢野球場	2,843人	(163,780円)
小中学校施設	24,553人	(549,930円)
柔剣道場	1,075人	(87,540円)
		<u>1,762,700円</u>

○主催教室事業

レッスン名	参加申込者	レッスン収入
親子幼児体操	43組	129,000円
シニアトレーニング	205人	615,000円
子供体操教室(年少・年中・年長・小1)	109人	327,000円
エアロビクス(夜)	55人	247,500円
大人平泳ぎ教室	12人	36,000円
大人初級・上級水泳教室	20人	60,000円
ズンバ	72人	324,000円
全身シェイプ&体幹強化(初級・上級)	211人	1,055,000円
シェイプアップエアロ(午後)	18人	81,000円
やさしいエアロ(午前)	30人	135,000円
からだ整え体操(午前)	27人	108,000円
水中ウォーキング	55人	247,500円
フラダンス	63人	283,500円
はじめてアロマヨガ	71人	319,500円
リラックスアロマヨガ	75人	337,500円
チームダイエットなんぶ	33人	165,000円
チームダイエットなんぶプラス	15人	60,000円
アルカディア水泳教室(小学生)	303人	3,030,000円
年中児水泳教室	102人	510,000円
体操教室(生涯スポーツ係)	14人	56,000円
トランポリン教室(生涯スポーツ係)	24人	96,000円
計	1,578人	8,222,500円

②その他施設

* 事業概要

社会体育施設・学校体育施設の開放は、各体協支部、体協専門部、クラブチームの多数に利用されている。平成28年度は収入額・利用者数ともに増加している。

* 成果 [評価 5]

体育館・グラウンドとも年間を通して体協専門部、スポーツ少年団、クラブチームが利用しているほか、県外町外の団体利用が増加している。平成28年度は収入額・利用者数ともに増加している。今後も、施設のPRはもちろん、旅行会社等にも積極的に働きかけ、より多くの利用者を確保していきたい。

* 課題

アルカディア南部総合公園(スポーツセンター、テニスコート、野球場、運動場、周辺公園)及び社会体育施設は、管理面積が広く、職員数が減少している現状を考えると、管理機械等を順次整備することが必要である。

また、よりレベルの高い施設を目指し、老朽化による改修・安全性の高い施設整備を順次実施していくことが必要である。

(2) スポーツグループの育成とスポーツの生活化

① スポーツ推進委員事業

* 事業概要

目的：町民にスポーツの楽しさ、すばらしさを伝えるとともに、スポーツやレクリエーションの普及振興を図るための指導・助言を行う。

事業費：450千円(スポーツ推進委員会補助金)

事業：1) 軽スポーツ普及事業

トランポリン教室(11回)、スポーツ鬼ごっこ教室(2回)

2) 各種スポーツ大会への協力

アルカディアスポーツフェスタ、町民体育祭、駅伝大会

3) 各種研修

定例会(4回)、峡南研修(3回)、県研修(2回)

* 成果 [評価 5]

スポーツ推進委員24名は町民に対し積極的にスポーツの普及振興に努めた。中でもトランポリン教室・スポーツ鬼ごっこについては、指導有資格者を中心に指導ができた。また、体協事業の駅伝マラソン大会等ではスムーズな大会運営の協力ができた。

* 課題

町の事業以外にも、各小中学校や地区活動へ積極的に出向き、スポーツ活動の推進を図る。

② スポーツグループ育成事業

* 事業概要

目的：町民のスポーツ実施率の向上とスポーツの日常化を目指し、軽スポーツグループの育成を図る。

事業：「南部リズム会」は平成18年度から自主団体として活動し、毎月1回リズム

体操教室を開催している。会員は年度末現在98名。

*** 成果 [評価 5]**

南部リズム会は設立から10年が経ち町民の中に定着している。50歳から70歳までの婦人層が中心で生活習慣病予防、体力づくりのほか会員の憩いの場として役割を果たしている。

*** 課題**

リズム体操をするだけでなく、多種多様の活動も活発となっている。会員も増加傾向にあるが、男性の参加者を増やして行きたい。なお一層の啓発や事業の推進を図り、スポーツを積極的にしない町民の取り込みを図る。また、会員自身が主体的に活動し、運営していく体制を整えていく。

③ スポーツ教室・イベントの開催

*** 事業概要**

目的：スポーツを振興し、町民の体力増進・健康を保持するとともに、人と人とのふれあいを育むコミュニティの場として、誰でも楽しめる軽スポーツを中心に教室を開催する。

事業費：教室謝金396千円、フェスタ367千円、サンクスデー104千円

事業：1) 各種教室の開催

教室名	開催日	開催回数	参加者数 (会員数)
スポーツ鬼ごっこ教室	7月4・5日	2回	180人
弓道教室	夏休み期間	12回	5人
スキー教室 しらかば2 in 1	2月19日	バス3台	102人
ウォーキング教室	9月12月 3月	3回	106人
リズム会	4月～3月	12回	98人
計			491人

2) スポーツイベント

イベント名	開催日	参加人数
チャレンジデー2016	5月25日	4679人
ヴァンフォーレ甲府 サンクスデー	9月17日	100人
アルカディアスポーツフェスタ 2016	7月24日	400人

*** 成果 [評価 4]**

日頃からスポーツの体験ができない方に対してのきっかけづくりとして大きな効果があり、各教室とも多くの初心者参加があった。また、フェスタでは、育成会対抗のスポーツ鬼ごっこ大会が盛大に開催されるとともに、プール無料開放のほか、

ダンスパフォーマンスの演技見学と来場者によるダンスを実施した。

*** 課題**

種目を固定化するのではなく、町民のニーズにあったスポーツやニュースポーツイベント教室を開催する。広くスポーツの楽しさやすばらしさを啓発するため、フェスタ・サンクスデーは継続して開催する。

また、生涯学習課としてイベントをまとめて実施していく検討が必要とされる。

(3) 組織の充実と連携

① 体育協会

*** 事業概要**

目的:生涯スポーツを推進するには体育協会と町行政とが緊密な連携を図る必要がある。

事業:体育協会は25支部、16専門部、6スポ少から組織され、教育委員会生涯学習課生涯スポーツ係が、庶務会計を担当しスポーツ振興を図っている。競技スポーツとしての一面と生涯スポーツの一面を有し、県体育祭への出場、町民体育祭・駅伝大会の開催、各種スポーツ教室の開催を年間事業としている。特に初心者を対象にしたスポーツ教室では各種目の普及を目指している。行政とも緊密な連携と協力体制が図られている。

事業費: 4,600千円 (体育協会補助金)

事業名	開催日	参加人数
第14回南部町民体育祭 雨天の為表彰式のみ	10月9日	100人
第14回南部町駅伝マラソン大会 76チーム・34人が完走	1月22日	420人

*** 成果 [評価 4]**

町と体育協会の連携が図られスポーツ事業が実施されている。特に町民体育祭・駅伝大会は町の一大行事として位置づけられている。

第4回目となったマラソン大会は、出場者が少しずつではあるが増加傾向にある。今後大きく飛躍する可能性を秘めている。

*** 課題**

部員の減少等により活動が減少している専門部には、新規部員の取り込みのための教室を開催する。また、体協支部で軽スポーツ教室を開催する場合は専門指導者ができる限り協力し指導・普及を図る。教室開催にあつては、町民のニーズにあった種目を開催する。

各事業とも安全面には万全を期す。